

とやま県政をぐっと身近に!

富山県議会議員

# 井上学県政報告

令和3年春号

発行：自由民主党  
富山県議会議員会



皆様こんにちは。平素より温かいご指導、ご支援を賜り、お陰様で元気に議員活動が出来ておりますことに心より感謝申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のほか、記録的な大雪、県内初となる高病原性鳥インフルエンザの発生など、県民の命や暮らしに関わる重大な事態に見舞われました。県民の皆様が豊かさを実感でき、安全で安心した生活が営めるよう、今後とも各般の施策を強力に進めることに全力を傾注してまいります。

北陸新幹線の開業から6年が経過しました。コロナ禍による影響を受け、開業6年目は、利用者数が前年比65%の減となるなど厳しい状況となりましたが、本県の更なる飛躍・発展を目指し、一日も早く大阪まで全線開通するよう引き続き、精力的に取り組んでまいります。

今任期も折り返しを迎えました。次の2年間は、党政務調査会の筆頭副会長の職を拝命しました。県内各地域や各職域における課題の解決に全力で取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご指導と叱咤激励を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和3年春 井上 学

## 令和3年2月定例会 予算特別委員会

### 問1 安全・安心・防災関連について

(1) 日医工株式会社に対し、業務停止命令が出たことにより、県内医薬品産業の信頼がゆらぐ事態となっているが、県として今後の再発防止、信頼回復にどう取り組んでいくのか。

#### ポイント!

日医工は、ジェネリック医薬品の国内最大手の一つであり、富山の医薬品産業を牽引して来た。その日医工が問題のある製造を長年に渡り行っていたことは、伝統ある「くすりの富山」への信頼までもが揺らいでいる。

#### (新田知事)

重大な事態だと受け止めている。全国にも例のない試みであるが、県薬事審議会の下に外部有識者を加えた医薬品製造・品質管理専門部会（仮称）を新たに設置し、早急に調査審議する予定としている。また、10年間問題を発見できなかったことについて、県の調査のあり方についても問題がなかったか検証するため外部有識者による調査委員会の設置を予定している。



**(2) 近年、災害が多発する中で、情報伝達手段の多重化、多様化の取組みが必要と考えるが、所見を問う。****ポイント!**

大規模な災害時に住民に災害情報等を的確に伝達するには、一つ的手段に頼らず、複数の災害伝達手段を組み合わせること、一つ一つの災害情報伝達手段を強靱化することが必要である。

**(砂原危機管理監)**

県・市町村等が災害情報を入力・共有する県総合防災情報システム及び国のシステムであるＬアラートを通じ、各報道機関や携帯電話会社の緊急速報メールに情報を一斉に配信するほか、富山防災 WEB、県公式ツイッター、防災アプリなどを活用することとしている。また、これらのシステムはクラウド化がなされており、大規模災害時でも担当者がインターネットに接続して操作できるよう強靱化が図られている。

**(3) 河川の氾濫などにより家屋等に流入した土砂の撤去については、河川管理者である県として、撤去作業に係る公的な支援が必要と考えるが、どうか。****ポイント!**

河川の復旧・改修等は、国や自治体の責任により公共工事で行うが、その後、家屋に流れ込んだ土砂など撤去作業は、ほぼ個人により解決せねばならず、ボランティアの応援が頼りである。

**(江幡土木部長)**

洪水は大雨によって生じる自然現象であり、洪水によって家屋に流入した土砂の撤去などは、基本的にその所有者が行うことになっている。ただし、市町村長が公益上必要と認め、市町村自ら土砂を撤去した場合は、規模要件や地域要件はあるが、国の「堆積土砂排除事業」により補助対象となる。県としては、市町村に対して本事業の周知を図るなど、連携協力して取り組んでまいりたい。

**(4) 110番通報する際にスマートフォンで撮影した映像を送ってもらうシステムについて、警察庁が導入を検討しているようだが、本県での導入見込みについて問う。****ポイント!**

現場の状況を視覚的に素早く把握し、初動対応に活用する狙いがあるとの事だが、同様のシステムは兵庫県警が昨年の10月から先行して運用を始めていると聞く。

**(杉本警察本部長)**

スマートフォンの普及に伴い、110番通報を受理した通信指令担当者が通報者に映像の送信を依頼し、通報者のスマートフォン等からリアルタイムの映像を送信してもらうシステムである。映像は、警察署や本部担当課の端末のほか、警察官が身につけている携帯用端末で確認することが可能となる予定。警察庁においては、令和3年度末から全国の警察にシステムを導入する予定で、県警察においても、警察庁と連携して準備を進めていきたい。

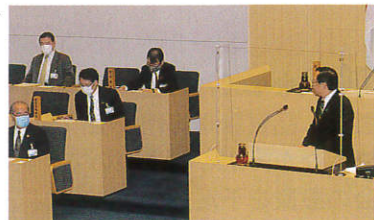
**(5) 全国では消防の119番通報時にも、映像送信を導入している自治体もあり、本県での導入見込みについて、問う。****ポイント!**

愛知県、兵庫県の一部消防では、既に本格的な運用が始まっていると聞く。

**(砂原危機管理監)**

この映像送信システムは、現在、神戸市消防局、岡崎市消防本部など7消防局・本部で正式に運用されている。このシステムの利点は、部隊の現場到着前に音声だけでなく映像で患者の容態や事故・火災の全貌を知ることができ、適切な応急手当の指示や、早期の部隊運用など、より適切な消防活動を可能にするという点にある。

県内の消防局・本部に確認をしてみたところ、現時点では、このシステムの導入予定はないと聞いている。





## 問2 地域振興について

### (1) 本県におけるテレワークやサテライトオフィスの現状はどうなっているのか。

#### ポイント!

新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークの実施率が大幅に上がった。我が国の成長戦略からしても、この流れは止まることはないと思う。

#### (柿沢総合政策局長)

本県におけるテレワークの現状については、今年度、県が8～9月に行った調査によると、テレワークを導入している企業の割合は約15%である。一方、国が今年度、8月～10月に全国の企業を対象に実施した調査によると、テレワークを実施している企業の割合は約34%である。

県では、今年度から誘致プロジェクトを強化しており、今年度に入ってから、4社のオフィスが県内に進出した。

なお、テレワーカー等が共同ワークスペースとして利用できるコワーキングスペースについても、県内自治体や民間事業者により整備が進められており、県内では、現在、10ヶ所が設置されている。

### (2) 生活条件が不利な中山間地域で、安心して暮らし続けられる地域づくりの取り組みについて、新年度予算ではどのような特徴的な施策を考えているのか。

#### ポイント!

買い物や病院にも行けない、高齢化で地域組織の運営が難しいといった課題の解決には、市町村がいくら頑張っても、資金的にも人的にも難しい面があり、やはり国や県との連携による力強い支援が必要である。

#### (新田知事)

地域コンシェルジュを1名から4名に増員し、市町村と一緒に、意欲のある地域を掘り起こし、地域の課題・将来像についての話し合いを支援、令和新时代まちづくり推進事業のほか、鳥獣による農作物被害を軽減するため、ICT等の新技術を活用した捕獲機材の導入などに取り組む。中長期的な対策として、中山間地域での日常生活品、食料などの配送に向け、ドローンの活用可能性についての実証実験、民間提案を活かした買い物サービスの実証実験のほか、個人所有の車両を活用した、住民参加型のモデル的な輸送サービスへの支援、遠隔医療の実施に要する機器等の整備への支援などに取り組むこととしている。

## 問3 岐阜県との連携について

### (1) これまで、7月5日を「富山・岐阜交流の日」と定め、両県で様々な取組みが進められてきたが、岐阜県との交流事業の主な成果と今後の課題について、どのように捉えているか。

#### ポイント!

隣県で交流の日を設けているのは岐阜県のみ。富山空港の利活用など、さらなる連携と発展を期待する。

#### (柿沢総合政策局長)

これまでの主な成果としては、まず、東海北陸自動車道について、今後10年から15年程度で4車線化を目指す優先整備区間に選定され、着実に整備が進められている。交流の日記念事業として、毎年、両県の観光スポットを紹介する広報番組の放送や県民会館等へのPRコーナーの設置、県民対象の交流バスツアーなど交流促進の取組みを両県が相互に実施してきた。こうした事業により、例えば、富山と高山を結ぶ高速バスの利用者が順調に増加していると聞いており、両県の交流が進んでいると考えている。今年7月に予定している両県知事の懇談会で議論を深め、岐阜県との連携を一層強化したい。





**(2) 高山市の観光客をターゲットにした観光 PR をもっと積極的に推進すべきと考えるが、所見を問う。****ポイント!**

新たに大都市圏のこれまで旅行にあまり興味もなかった人に本県へ訪れてもらう事にエネルギーを使うより、すぐそこに来ている大勢の観光客（年間約 450 万人）に呼びかける方が圧倒的に効果がある。

**(新田知事)**

高山市には国内外から多くの観光客が訪れており、本県への周遊を一層促進することは重要な課題である。このため新年度は、新たに JR 高山駅における本県の観光ポスターの掲示や、駅前の観光案内所でのパンフレットの配架を行うとともに、富山空港運営のあり方調査の中で、高山市を訪れる観光客による利用促進の方策も検討することとしている。今後とも、ウィズコロナにおける感染拡大防止と観光需要の回復の両立に取り組むとともに、近隣県との連携を一層強化することにより、広域周遊観光を推進してまいりたい。

**(3) 富山高山連絡道路について、国土交通省の検討委員会での現在までの検討状況と今後の橋梁工事計画の見通し、事業全体の推進にどのように取り組むのか、所見を問う。****ポイント**

昨年 4 月に、富山市片掛地内において国道 41 号線の道路法面崩落が発生し、富山高山連絡道路の猪谷楡原区間の橋梁工事が現在もストップしている。

**(江幡土木部長)**

法面对策としては、鋼管抑止杭工及び法枠鉄筋挿入工により法面の安定化を図ることとし、隣接する橋梁工事については、当初予定していた位置を見直し、崩落した法面を避けて、新たな位置に橋台を構築することが基本方針とされた。また、大沢野富山南道路では、現在、事業区間北側の惣在寺地区や岩木新地区において用地買収が進められており、同地区では市道等との交差部で横断ボックスの工事もあわせて進められている。今後も、岐阜県と連携して、早期整備を国に対して働きかけていく。

**問 4 農福連携について****(1) 生活困窮者やひきこもりの方々への農福連携における支援施策と、それを支援する NPO 等の団体への支援策について、どのように考えているのか。****ポイント!**

8050 問題がクローズアップされる中、ひきこもりなどの生きづらさを抱えている方々の中には、生活困窮に直面している方や家族も多く、その方々にとって安心できる居場所での就労機会は、社会復帰へのチャンスでもある。

**(石黒厚生部長)**

生活困窮者を対象とした農福連携については、今年度、県内の NPO 法人が国の委託を受けて広域連携モデル事業を実施した。この事業は、自立相談支援窓口で就労支援を受けている方を対象とした合宿型の就労体験・訓練プログラムで、10 日間の体験コースと 2 カ月間の農作業等の研修コースがあり、県内の自立相談支援機関に周知を図ったところ、10 日間の体験コースに 2 名の参加があった。

今後も、本人の意向や適性を踏まえた就労体験や自立支援につながるよう、関係機関との情報共有を図るなど、連携してまいりたい。





# 富山県の令和3年度重点施策（抜粋）

## I 新型コロナ対策

### 感染防止対策、医療提供体制の整備等

新型コロナ感染症患者を受け入れる医療機関等に対する支援・体制確保

**医療機関等支援、検査・診療体制確保 総額 82億6,015万円**

（主な事業）

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保  
6,000万円【一部補正】  
・新型コロナウイルスワクチンを迅速かつ適切に接種するための体制確保
- 地域外来・検査センター設備整備・運営 6,900万円  
・かかりつけ医等からの紹介でPCR検査を受けられる体制の整備
- 新型コロナ感染症患者等の入院病床の確保 68億5,800万円
- 新型コロナ感染症患者受入医療機関等における設備整備  
3億7,467万円
- 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊施設確保・運営  
5億5,800万円



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場運営訓練（川崎市）

## II-1 産業・経済の活性化

### 新型コロナの影響への経営支援

事業再建に向けた取組み、アフターコロナを見据えた新たな事業展開を支援

- 富山県中小企業リバイバル補助金 15億円【補正】（再掲）
- 新型コロナに係る公共交通支援事業 11億9,761万円【一部補正】（再掲）

＜制度融資メニューの創設＞

- DX推進資金 融資枠6億円  
・デジタル技術を活用した設備投資を実質3年間無利子で後押し
- ビヨンドコロナ応援資金 融資枠200億円  
・金融機関と連携して経営改善等に取り組む場合、信用保証料をゼロに引下げ
- 経営改善サポート資金 融資枠40億円  
・再生支援協議会や信用保証協会等の支援により作成した事業再生計画に基づいて経営を再建する場合、信用保証料をゼロに引下げ

- 事業再編推進事業 500万円  
・県内中小企業の経営資源を次世代に引き継ぎ、経営基盤の強化や、販路開拓、新事業展開につなげるため、「富山県事業承継支援戦略」を改定
- アフターコロナを見据えた観光地域づくり支援事業 3,000万円  
・旅行商品の開発や感染防止対策、デジタル技術の活用など新たな観光ビジネスに対し支援
- 山小屋感染症対策緊急支援事業  
1,550万円【補正】  
・山小屋の持続的な経営に向けた、衛生用品購入や施設改修などの感染症対策を支援



## II-2 女性活躍の推進、子育て環境の充実

### 安心して子育てできる環境の整備

こども病院、不妊治療、ひとり親家庭支援など安心して子育てできる環境を整備

○富山県小児医療等提供体制検討会開催事業 300万円

・富山こども病院構想を含めた小児医療提供体制を検討

○ひとり親世帯への県独自の生活支援給付金

1億9,430万円【補正】

・ひとり親世帯に生活支援給付金（3万円/世帯）を支給

○特定不妊治療費助成事業 9億216万円【一部補正】

・保険適用（R4年度～）までの間の国の制度拡充に対応するとともに、  
県の上乗せ制度も拡充

○スクールソーシャルワーカー活用事業 2,622万円

・いじめ等の諸課題に対する未然防止、早期発見、早期対応のための相談、  
支援体制を強化

○新川こども屋内レクリエーション施設調査検討事業 950万円

・新川文化ホール敷地内に整備予定の施設の基本計画策定に向けた検討を実施



充実した子育て環境（イメージ）



新川文化ホール

## II-5 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

### 中山間地域の活性化

地域活性化に向けて住民の話し合いを進めるとともに、デジタル技術やテクノロジーなどを活用し、中山間地域における課題解決を支援

○集落支援推進事業 2,187万円

・中山間地域の話し合い支援や個別相談対応、情報収集等の集落支援事業を強化するため、地域コンシェルジュを増員（1名⇒4名）

○中山間地域「話し合い」促進事業 800万円

・中山間地域のアクションプラン策定に向けた住民の話し合いに係る活動を支援（支援額等を拡充）

○新たな地域づくり展開促進実証事業 100万円

・県内の地域づくり実践者によるネットワーク組織の設置

○中山間地域ドローン物流実証事業 800万円

・ドローンを活用した物流について、勉強会を踏まえた実証実験を実施

○遠隔医療設備費補助金 1,238万円（再掲）

○中山間地域等買い物サービス総合推進事業 900万円

・中山間地域等における民間提案を活かした買い物サービスの実証

○中山間地域交通網維持活性化支援事業費補助金 800万円

・個人所有車両を活用した輸送サービスを住民参加型交通モデルとして新たに支援

地域コンシェルジュ4名(3名増)・職員

市町とともに事前調整など

【地域の話し合い】…旧小学校区単位

○4～5回のワークショップ

○1日体験(拡充)

※支援額 40万円程度/地区(5万円増)  
(専門家派遣などの経費)

話し合い支援イメージ



ドローン物流のイメージ



## II-5 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

### 安全・安心な地域づくり

誰もが、いつまでも、安全で安心して暮らせる地域の基盤づくりを推進

○地域防災力向上支援事業 3,300万円【一部補正】

・災害の激甚化等に対応するため、自主防災組織が整備する防災資機材の導入等を支援

○鳥獣被害防止総合対策事業 5億1,249万円【一部補正】

・農地等への鳥獣の侵入防止対策に係る新技術の実証をはじめ、イノシシの捕獲の強化や捕獲イノシシの処分施設の整備を支援

○地域自殺対策ネットワーク構築事業 454万円

・県自殺対策推進センターに関係機関とのつなぎ・調整を行う有資格者をコーディネーター役として配置

○DV被害者等困難を抱える女性の自立支援パイロット事業 1,120万円

・困難を抱える女性に対する居場所の提供や自立支援等に取り組む民間シェルター等へ支援

○性暴力被害ワンストップ支援センターとやま運営事業 2,500万円

・常勤支援員を増員するなどセンターの支援体制を強化



自主防災組織による訓練  
(イメージ)



イノシシの捕獲の強化  
(イメージ)



党本部とリモート会議



市議選事務所開き



防犯協会再編準備会



街頭演説



政調会現地調査



## 井上学の主な活動

## 令和3年1月

1日 各地区新年会（～3日）  
 4日 党県連新年初顔合わせ  
 市長予備選選考委員会  
 5日 新年挨拶回り、政調会  
 6日 市長予備選選考委員会  
 7日 政調会正副部会長会議  
 10日 大沢野地域成人式  
 12日 市長予備選立候補受付・記者会見  
 13日 北陸経済研究所打合せ  
 14日 県連常任総務会  
 15日 市長予備選選考委員会  
 政調会、党大沢野支部役員会  
 18日 県土木センター、市土木事務所打合せ  
 19日 市長予備選選考委員会  
 20日 議員総会  
 24日 市長予備選立会演説会  
 25日 政調会、正副部会長会議  
 26日 市長予備選公開討論会  
 27日 役員会、野上大臣リモート要望  
 28日 富山南防犯協会常任理事会  
 29日 県連役員ヒアリング  
 31日 市長予備選投票日、記者会見

## 2月

1日 政調会  
 2日 富山南警察署打合せ

3日 議会運営委員会、議員総会  
 県予算折衝、記者会見  
 4日 全員協議会、議会運営委員会  
 5日 富山市役所打合せ  
 8日 政調会  
 9日 県選管打合せ  
 10日 議員総会、臨時議会  
 12日 富山市連打合せ  
 13日 県連支部長幹事長事務局局長会議  
 富山南防犯協会常任理事会  
 15日 議員会役員会  
 20日 富山市7地域連絡協議会  
 党支部総務分会会長会議  
 22日 議会運営委員会、議員総会  
 南防犯協会再編準備会  
 24日 経営企画常任委員会  
 25日 雇用問題調査会勉強会  
 党本部とリモート意見交換会  
 26日 2月議会開会、全員協議会  
 27日 富山市7地域連絡協議会  
 立山黒部を愛する会講演会  
 28日 市長選市議選公認証交付式

## 3月

1日 北陸電気工業打合せ  
 2日 水産問題調査会勉強会  
 代表質問、議運、子どもPT勉強会

4日 一般質問1日目  
 5日 パイホロン打合せ  
 7日 福沢自治振興会総会  
 高内自治会役員会  
 8日 一般質問2日目  
 9日 政調会、党活動戦略会議  
 10日 一般質問3日目  
 12日 予算特別委員会1日目  
 13日 第2選挙区役員会  
 14日 寺家自治会、市場自治会総会  
 15日 南防犯協会打合せ  
 16日 予算特別委員会2日目  
 17日 大久保用水土改総会  
 18日 予算特別委員会3日目  
 20日 大沢野ゴルフ連盟役員会  
 21日 下大久保自治振興会総会  
 22日 総括質問、議員総会  
 23日 経営企画常任委員会、議運  
 南防犯協会常任理事会  
 24日 議員総会、採決  
 25日 中山間地域振興調査会勉強会  
 27日 船峯土改総代会、上新川野球協会総会  
 28日 大沢野消防署竣工式  
 29日 政調会  
 30日 富山カントリークラブ理事会  
 南防犯協会解散・設立総会  
 31日 北陸電力打合せ

## 主な役職

## &lt; 県議会委員会 &gt;

議会運営委員会 副委員長  
 厚生環境常任委員会 委員  
 成長戦略特別委員会 委員  
 議会改革推進会議 委員  
 議会広報誌策定委員会 委員

## &lt; 自民党 &gt;

県連政務調査会 副会長  
 政調会福祉環境部会 部長  
 県第2選挙区支部 政務調査会長

## &lt; 議員連盟 &gt;

日中、日韓、日台、日露友好議員連盟  
 山村振興、スポーツ振興議員連盟  
 砂防促進、拉致、観光振興議員連盟  
 自衛隊支援、スカウト、オイスカ議員連盟  
 看護、宅建議員連盟  
 商工会、MOA議員連盟  
 富山県南米協会  
 県東部地域活性化協議会

## &lt; 自民党調査会 &gt;

富山湾未来創造調査会  
 雇用問題、医療問題調査会  
 農業問題、水産問題調査会  
 中山間地域振興調査会

## プロフィール

誕生日／昭和33年8月20日  
 婦中町羽根川口生まれ

.....  
 古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部卒業  
 昭和56年／富山県庁入庁  
 平成26年／農村振興課長で富山県庁退職  
 平成27年／富山県議会議員初当選  
 平成31年／富山県議会議員2期目当選

## 連絡先

## 【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
 TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421

## 【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7 (旧大沢野町)  
 TEL 076(467)2359 FAX 076(403)2620  
 携帯 090-9767-1098  
 ホームページ [hppt://www.inoue33.net/](http://www.inoue33.net/)  
 E-mail [gaku2014@yahoo.co.jp](mailto:gaku2014@yahoo.co.jp)

県議会の詳しい様子は、  
 富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会  <http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/>

## ■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。